

# PC のセキュリティ強化対策

2016年10月22日 河出 修

[はじめに]

- ★インターネット広告や、ウイルスを添付したメールをうっかり クリックしたために、ウイルスが入り込みパソコンが正常に動かなくなるという、トラブルが発生しています。
- ★自分のパソコンをウイルスから守り、安全に使用方法について、解説します。

## I. Windows PC のセキュリティ設定

★Windows パソコンのセキュリティの設定や状態確認は、Windows のバージョンによって変わる。

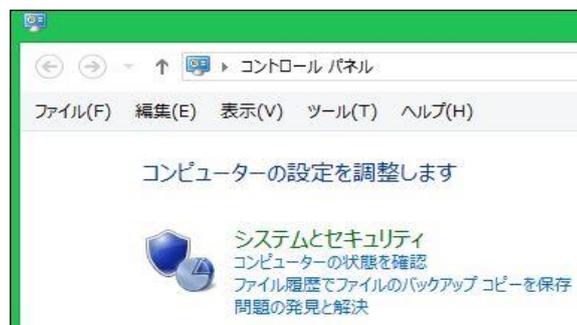
### 1. 「Windows 7」の表示方法

- タスクバーの「アクションセンター」ボタンを押す。  
→「アクションセンターを開く」ボタンを押す。



### 2. 「Windows 10」の表示方法

- コントロールパネルの「システムとセキュリティ」を押す、「セキュリティとメンテナンス」を押す。

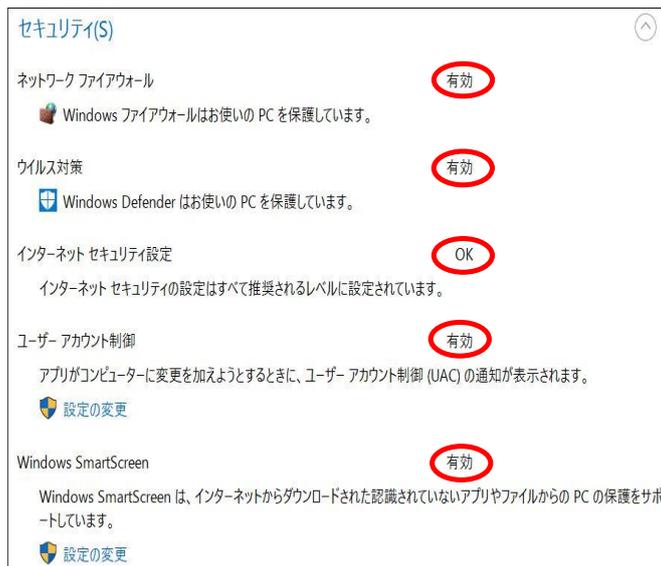


★「セキュリティ設定画面」が開くと、「セキュリティ(S)」の「下向き矢印」を押すと下図のように展開される。

### ●「Windows 7」の設定画面



### ●「Windows 10」の設定画面



## 3. 「セキュリティ設定画面」の表示項目の説明

- (1) ネットワーク ファイアウォール (「有効」にする)
  - ・ファイアウォールは、ハッカーまたは悪意のあるソフトウェアがネットワークやインターネットを経由して、コンピュータにアクセスするのを防ぐために役立ちます。
- (2) Windows Update (「有効」にする)
  - ・Windows Update は、使用しているコンピュータ用の更新プログラムを定期的にチェックして、自動的にインストールできます。
- (3) ウイルス対策 (「有効」にする)
  - ・ウイルス対策ソフトウェアが有効で最新かどうかを検出します。
- (4) スパイウェアと不要なソフトウェアの対策 (「有効」にする)
  - ・スパイウェアに対する保護が有効で最新かどうかを検出します。
- (5) インターネットセキュリティ設定 (「OK」にする)
  - ・セキュリティ設定が正常に機能していることを確認します。
- (6) ユーザーアカウント制御 (「有効」にする)
  - ・管理者レベルのアクセス許可を必要とする変更がアプリケーションに対して行われたときに通知します。

- (7) Windows SmartScreen (「有効」にする)  
 ・ダウンロードされたファイルが既知のマルウェアであるか、評価が定まっていないファイルである場合に警告することで、パソコンの保護に役立ちます。
- (8) ネットワークアクセス保護  
 ・主に会社のネットワークで使用します。ネットワークの全体的なセキュリティの保護に役立ちます。

#### 4. 「不正なプログラム」に感染しないための注意事項

- (1) 「セキュリティ設定画面」の各種設定項目を、推奨された安全な設定にすること。  
 (2) ウイルス対策ソフトは、期限切れのまま放置しないこと。  
 (3) 定期的に全ファイルのスキャンを行うこと。  
 (4) インターネットの閲覧時は、「怪しげなソフト」はダウンロードやインストールしないこと。  
 (5) 「怪しげなメール」は開かないこと。メール本文中のハイパーリンクを安易にクリックしないこと。  
 (6) 「怪しげなメール」の添付資料は絶対に開かないこと。

## II. Micro Soft 社の無料ウイルス対策ソフトの紹介

### 1. Microsoft 社のウイルス対策ソフト

- Windows Vista/7 用としては、「Microsoft Security Essentials」がある。
- Windows 8/8.1/10 用としては「Windows Defender」がある。(プリインストールされている)

### 2. 「Microsoft Security Essentials」のインストール

- 下記サイトより、「Microsoft Security Essentials」をダウンロードすると、「MSEInstall.exe」が作成される。

<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/security-essentials-download>

- 「MSEInstall.exe」を実行すると、「Microsoft Security Essentials」がインストールされる。

★ウイルス対策ソフトのバージョンアップ、ウイルス定義ファイルの更新は「Windows Update」を通じて自動的に行われる。

### 3. ウイルス対策ソフトの制御画面



「Microsoft Security Essentials」

「ホーム」タブ

- ・リアルタイム保護の状況表示
- ・定義ファイルの内容表示
- ・スキャンの指示

「更新」タブ

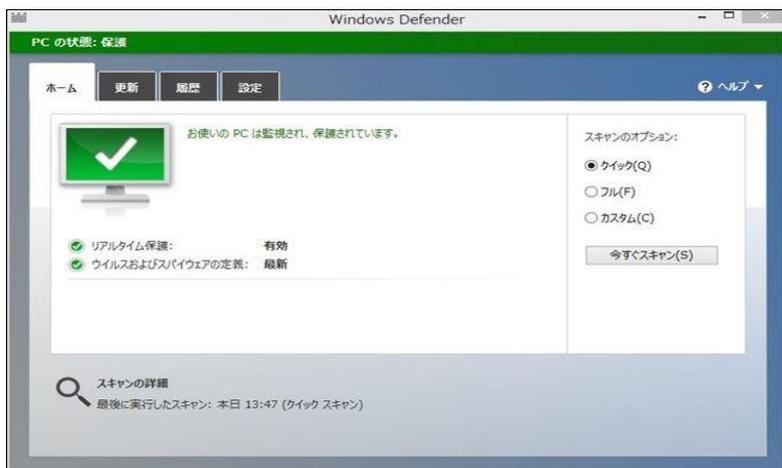
- ・定義ファイルの更新指示

「履歴」タブ

- ・検疫された項目の表示
- ・検疫された項目の処理方法指示

「設定」タブ

- ・スキャンのスケジュール設定
- ・その他各種設定



「Windows Defender」

「ホーム」タブ

- ・リアルタイム保護の状況表示
- ・定義ファイルの内容表示
- ・スキャンの指示

「更新」タブ

- ・定義ファイルの更新指示

「履歴」タブ

- ・検疫された項目の表示
- ・検疫された項目の処理方法指示

「設定」タブ

- ・スキャンのスケジュール設定
- ・その他各種設定

### III. Micro Soft 社以外のウイルス対策ソフトの紹介

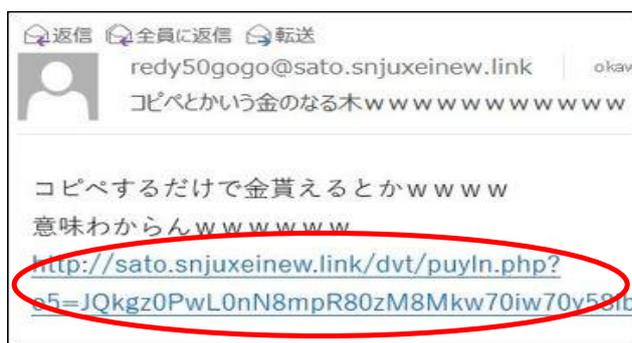
★「無料ウイルス対策ソフト」のウイルス検出率はやや低いとされています。しかし、注意事項を守ってPCを使用すれば、実用上は問題ないと思いますが、心配な方は下記の有料ソフトを使用してください。

★有料の総合セキュリティソフトの一覧表(2016-2017年版)

項目	ESETセキュリティソフト	ノートンセキュリティ	ウイルスバスタークラウド	カスペルスキー2016	マカフィーリブセーフ	G DATA Internet Security	F-Secure SAFE	ZEROスーパーセキュリティ
特徴	軽さと性能を両立	世界シェアNo.1	初心者に優しい	高性能、最新の脅威に強い	サポート時間が長い	高い検出率、やや重い	安心の性能	高性能、更新料0円
価格(1年)	6,253円	6,998円	5,380円	6,980円	5,746円	3,218円	4,122円	7,980円
価格(3年)	5,140円	12,830円	9,980円	12,025円	10,000円	7,538円	---	更新 0円
インストール可能台数	5台	3台	3台	無制限	無制限	3台	3台	3台

★無料の総合セキュリティソフトには、「AVAST無料アンチウイルス」、「AVGアンチウイルス」等がある。

### IV. 「怪しげなメール」の例



●メール本文にある怪しげなURLは絶対にクリックしないこと。

●怪しげなメールの「添付資料」は絶対に開かないこと。

### V. インターネット上の「怪しげなソフト」の例

★「PCの診断ソフト」のなかには、大量のエラーがあると不安をあおり、購入を促すソフトがあります。(詐欺ソフト・点検商法ソフト)

★メッセージの通り、安易にエラーを修復してしまうと、特に悪くないところも無責任に修復してしまうので、パソコンの動作が異常に遅くなったり、最悪パソコンが起動しなくなる事もあります。

#### 1. 「PC SpeedCat Pro」

- WINDOWS 10 エラーの修正(推奨されるWindows修復ツール)が、うたい文句。
- Windows 10 にアップグレード後、このソフトを導入した影響により、パソコンが起動しなくなるトラブルがありました。

#### 2. 「RegClean Pro」、「WinZip Driver Updater」

- WINDOWS 10 とは限りませんが、パソコンの診断結果を表示し、パソコンが危険な状態にあるかのように思わせて有償版を購入するよう誘導する、とても悪質な迷惑ソフトです。
- 「WinZip Driver Updater」は、クレジットカードで有償版を購入するよう誘導します。これを一旦契約し、放置すると毎年ソフト使用料が引き落とされますので、気を付けましょう。

#### 3. その他

- 上記の他にも迷惑ソフトは多数存在します。
- 安易に「怪しげなソフト」はインストールしないように、気を付けましょう！